

日本トレーニング科学会 トレーニングカンファレンス NBAとバスケットボールワールドカップ： アスレティックトレーナーとしての貢献

**3/20(水) 15:00~16:30 @立命館大学びわこ・くさつキャンパス
インテグレーションコア
スポーツパフォーマンス測定室**

アメリカでアスレティックトレーナーとして活躍し、2016年から公益財団法人日本バスケットボール協会（JBA）スポーツパフォーマンス部会部会長の要職に就いていらっしゃる佐藤晃一さんがワークショップをさせていただきます。アスレティックトレーナーを目指す方、海外留学を考えている方、バスケットボールやアメリカンフットボールが好きな方は是非ともご参加ください。

講演者略歴

Koichi Sato
佐藤晃一 Ms, ATC



福島県郡山市出身。福島県立郡山高校卒業。東京国際大学教養学部国際学科卒業。Eastern Illinois Universityアスレティックトレーニング学科卒業。Arizona State University (ASU) バイオメカニクス修士課程終了。活動歴：2000~6年、ASUアシスタントアスレティックトレーナー（AT）、同大学キネシオロジー学部講師、Dwight Phillips（陸上競技）サポートAT。2000年夏、Bristol White SoxヘッドAT。2002年夏、Chicago BearsインターンAT。2006~7年、Athletes' PerformanceでSports Performance Specialist、2007~8年、Levi Jones（Cincinnati Bengals）のパーソナルAT。2008~13年、Washington Wizardsリハビリコーディネーター兼アシスタントAT。2013~16、Minnesota Timberwolvesスポーツパフォーマンスディレクター。2016年より公益財団法人日本バスケットボール協会スポーツパフォーマンス部会部会長。スポーツリハビリ、トレーニングやコーチングを主に、国内外でシンポジウム、ワークショップ等での講師を務める。



理系とアメリカ志向だった私が、文系大学でソ連東欧事情を学び、アメフトを通じてアスレティックトレーニングを志してアメリカに留学し、結局は修士課程で理系のバイオメカニクスを専攻し、出会いに恵まれて競技経験のないバスケットボールの最高峰NBAでの8年間を含め、アメリカで23年間過ごした後に、帰国しJBAの変革、選手強化から指導者・選手育成に携わり、21年ぶりの男子代表W杯自力出場権獲得のプロセスに関わるようになった経緯と振り返りが、皆さんのちょっとした気づきになればと思います。皆さんの質問を楽しみにしています。

本カンファレンスの会費は無料、参加登録も不要です。直接会場へお越しください。ご不明な点は下記担当者へお問い合わせください。

立命館大学 スポーツ健康科学部
長野 明紀 aknr-ngn@fc.ritsumeikan.ac.jp